

(3) 乳児死亡及び新生児死亡

乳児死亡数は118人で、前年より4人増加した。乳児死亡率は、出生千人に対し2.1で前年の2.0を0.1ポイント上回った。

乳児死亡のうち新生児死亡数は、54人で前年より4人増加した。新生児死亡率は、出生千人に対し1.0で前年の0.9を0.1ポイント上回った。

なお、全国は乳児死亡率2.1、新生児死亡率0.9であった。(表-20、図-16、図-17)

表-20 乳児死亡及び新生児死亡の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	24	25	26	
乳児	数	埼玉県	1 523	1 348	1 232	1 015	558	369	280	257	210	137	133	114	114	118
		全国	49 293	33 742	25 412	19 103	11 841	7 899	5 616	5 054	3 830	2 958	2 450	2 299	2 185	2 080
	率	埼玉県	35.1	20.2	13.5	10.6	7.4	5.5	4.4	3.8	3.2	2.3	2.2	2.0	2.0	2.1
		全国	30.7	18.5	13.1	10.0	7.5	5.5	4.6	4.3	3.2	2.8	2.3	2.2	2.1	2.1
新生児	数	埼玉県	955	931	869	673	369	228	168	124	105	61	62	50	50	54
		全国	27 362	21 260	16 742	12 912	7 796	4 910	3 179	2 615	2 106	1 510	1 167	1 065	1 026	952
	率	埼玉県	22.0	14.0	9.5	7.0	4.9	3.4	2.7	1.8	1.6	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0
		全国	17.0	11.7	8.7	6.8	4.9	3.4	2.6	2.2	1.8	1.4	1.1	1.0	1.0	0.9

注 率は出生千対である。

図-16 乳児死亡率の年次推移
(埼玉県・全国)

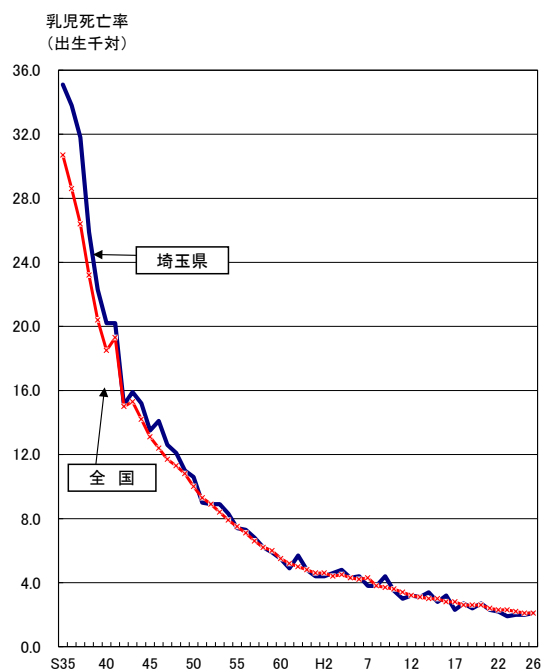
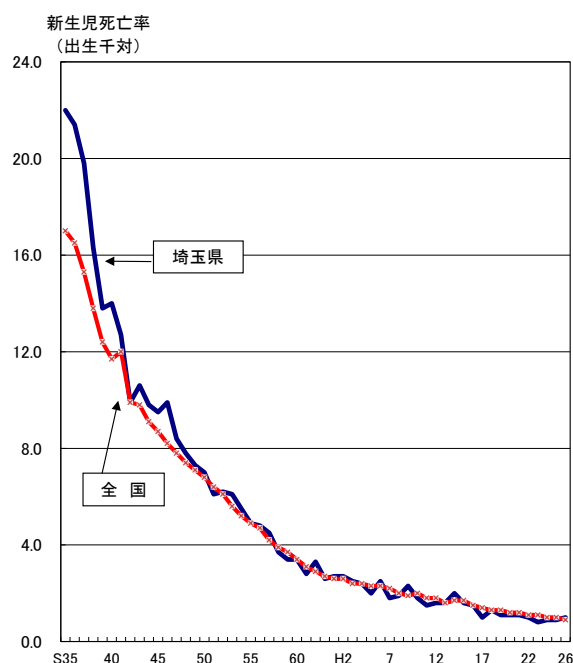


図-17 新生児死亡率の年次推移
(埼玉県・全国)



(4) 自然増減

自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）は△5,504人で、前年の△2,794人より2,710人減少した。平成24年に戦後初めて減少に転じて以降、3年連続しての減少となった。

年次推移をみると、第2次ベビーブーム期の昭和46～49年には75,000人を超えていたがその後急激に減少し、平成15年に20,000人を、平成20年から10,000人を割っていた。

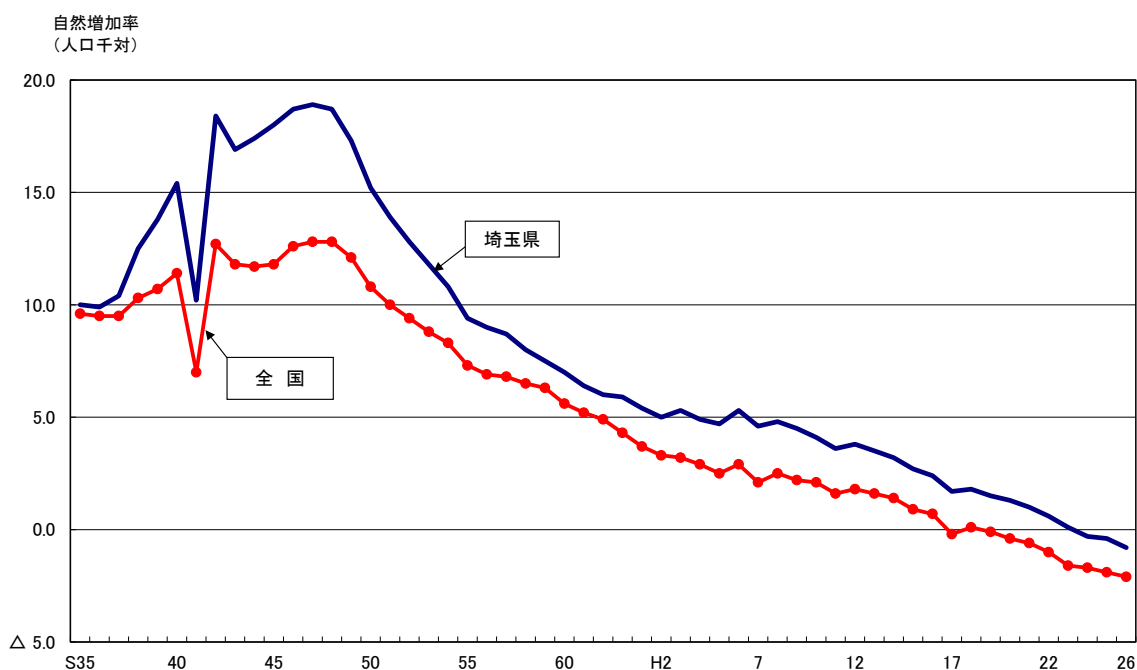
自然増減率は、人口千人に対し△0.8で前年より0.4ポイント低下した。全国自然増減率は、△2.1であった。（表-21、図-18）

表-21 自然増減数及び自然増減率の年次推移

	S35	40	50	55	60	H2	7	12	17	22	24	25	26	
数	埼玉県	24 332	46 468	73 345	50 961	40 843	32 077	30 951	25 890	11 636	3 950	△ 2 194	△ 2 794	△ 5 504
	全国	899 442	1 123 259	1 199 165	854 088	679 294	401 280	264 925	228 894	△ 21 266	△ 125 708	△ 219 128	△ 238 620	△ 269 465
率	埼玉県	10.0	15.4	15.2	9.4	7.0	5.0	4.6	3.8	1.7	0.6	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.8
	全国	9.6	11.4	10.8	7.3	5.6	3.3	2.1	1.8	△ 0.2	△ 1.0	△ 1.7	△ 1.9	△ 2.1

注 率は人口千対である。

図-18 自然増減率の年次推移（埼玉県・全国）



市町村別にみると、高率順では戸田市（5.5）、和光市（4.8）、朝霞市（4.7）の順である。また、低率順では、東秩父村（△14.1）、小鹿野町（△11.8）、皆野町（△11.0）の順である。

県内で自然増減数がマイナスの市町村は、前年より2市増加して63市町村中47市町村であった。（表-22、図-19）

表-22 市町村別にみた自然増減率（高率順）

埼玉 県								
順位	市町村	自然増減率	順位	市町村	自然増減率	順位	市町村	自然増減率
1	戸田市	5.5	24	入間市	△ 1.2	47	本庄市	△ 5.0
2	和光市	4.8	25	三芳町	△ 1.6	48	寄居町	△ 5.1
3	朝霞市	4.7	26	蕨市	△ 1.7	49	川島町	△ 5.7
4	志木市	2.2	27	鴻巣市	△ 2.0	50	小川町	△ 5.9
5	伊奈町	1.9	28	春日部市	△ 2.2	51	毛呂山町	△ 6.3
6	八潮市	1.7	29	東松山市	△ 2.3	52	吉見町	△ 6.4
7	吉川市	1.0	30	久喜市	△ 2.3	53	秩父市	△ 6.7
8	三郷市	0.8	31	狭山市	△ 2.4	54	美里町	△ 7.2
9	草加市	0.7	32	蓮田市	△ 2.9	55	鳩山町	△ 8.5
10	さいたま市	0.7	33	深谷市	△ 3.0	56	越生町	△ 8.5
11	越谷市	0.6	34	宮代町	△ 3.0	57	横瀬町	△ 8.9
12	滑川町	0.6	35	日高市	△ 3.0	58	長瀬町	△ 10.0
13	富士見市	0.5	36	松伏町	△ 3.1	59	ときがわ町	△ 10.4
14	新座市	0.5	37	北本市	△ 3.3	60	神川町	△ 10.6
15	川口市	0.3	38	杉戸町	△ 3.5	61	皆野町	△ 11.0
16	所沢市	0.1	39	熊谷市	△ 3.5	62	小鹿野町	△ 11.8
17	ふじみ野市	△ 0.0	40	上里町	△ 4.0	63	東秩父村	△ 14.1
18	鶴ヶ島市	△ 0.4	41	飯能市	△ 4.0			
19	川越市	△ 0.6	42	加須市	△ 4.3			
20	上尾市	△ 0.7	43	幸手市	△ 4.6			
21	白岡市	△ 1.0	44	行田市	△ 4.7			
22	坂戸市	△ 1.1	45	嵐山町	△ 4.9			
23	桶川市	△ 1.2	46	羽生市	△ 4.9			

注1 率は人口千対である。

注2 順位の算出には、小数点第1位以下を考慮。

